

令和4年度東北ブロック協議会 行動計画効果検証業務 行動計画の検証・充実のための図上演習

- 開催日時：令和5年2月20日（月）10：00－15：40
- 開催場所：エル・ソーラ仙台 大研修室
- 目的：東北ブロック協議会で策定した東北ブロック行動計画の効果の検証を行うため、図上演習等を実施し、発災時の対応力の向上を目指して行動計画の更なる改善や充実を図る。
- 参加対象：令和4年度東北ブロック協議会構成員
- 演習方法：事務局作成のシナリオに基づく『状況付与型図上演習』（発災～1週間を対象）
- 演習に期待する効果：東北ブロック行動計画等に沿った災害廃棄物処理対応の検証、参加自治体の災害廃棄物処理計画の対応可否、課題の確認、関係者との交流・意見交換

図上演習の状況付与・手法

○状況付与

- ・東北地方広域で線状降水帯による豪雨が発生
- ・8月3日（水）から8月4日（木）にかけて、東北地方の複数市町村で累計400mmの降水量を観測
- ・東北地方の複数の自治体で内水・外水氾濫により災害が発生した
- ・8月5日（金）8時に地域防災計画に基づき、自治体職員に庁舎召集の指示が発令
- ・災害救助法が適用される
- ・激甚災害に指定される
- ・特定非常災害には指定されない
- ・各被災市庁舎に被災はなく、行政は通常通り機能する
- ・県庁や市役所も通常どおり機能する
- ・住家被害：集計中
- ・道路：一部浸水により、橋梁及び道路通行止め区間あり
- ・ライフライン：電気復旧済み、上下水道・ガスの被害無し
- ・通信：携帯電話、固定電話使用可、インターネット使用可



- ・廃棄物処理施設等の被害：ごみ処理施設⇒被害なし、し尿処理施設⇒屋根に損傷（稼働に影響なし）、ごみ収集車両⇒水没により車両が使用不可 し尿収集車両⇒被害なし
- ・その他：避難所複数箇所開設

○手法

①参加者全員が被災自治体として、どこにどのような情報を確認しなければならないのかという観点から、主にそれぞれの自治体の処理計画等を確認する作業を実施。

②参加者全員が支援自治体として、支援チーム派遣のための準備をするという観点から、主にそれぞれの自治体の実情を確認する作業を実施。

③被災自治体と支援チームに役割を分担し、被災自治体と支援チームの立場で必要となる検討を実施。

○参加者から出た課題（一部）

- ・支援チームの人材の発掘が必要
- ・受援側がどこまで支援側にお願いするか、業務内容の整理が必要
- ・支援側が準備するもの（資機材等）の整理が必要